

平成 31 年第 1 回定例会(3 月)議決結果

第 1 回定例会が平成 31 年 3 月 5 日から 18 日までの 14 日間の会期で開催されました。条例、新年度予算など 26 議案が上程され、次のとおり議決されました。

【条 例】

●芦屋町職員定数条例の一部を改正する条例の制定

(可決 満場一致)

地方公共団体の一般職の任期付職員の採用に関する法律に基づき、平成 29 年度に条例の制定を行い、嘱託職員を任期付職員として採用したことにより、教育委員会の職員数が定数の上限に達したため、様々な行政ニーズ及び今後想定される再任用職員の配置への対応を目的として、教育委員会の事務部局の職員定数を増員するため、条例の一部を改正します。

●芦屋町特別職の職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例の制定

(可決 満場一致)

芦屋中央病院跡地検討委員会の設置に伴い、同委員会委員に係る報酬等の額の設定及び芦屋町総合振興計画審議会の委員に係る報酬等の額並びに学識経験者等の区分見直しを行うため、条例の一部を改正します。

●芦屋中央病院跡地検討委員会設置条例の制定

(可決 賛成多数)

芦屋中央病院跡地の有効かつ合理的な活用について検討することを目的とし、跡地活用に関する事項について調査審議する機関として、地方自治法第 138 条の 4 第 3 項の規定に基づき、設置します。

●芦屋町総合振興計画審議会条例の一部を改正する条例の制定

(可決 賛成多数)

総合振興計画の策定において、専門的な知識と高い見識を持った有識者や関係団体等から広く意見を求めることができるようにするため、委員の構成人数を増員するため、条例の一部を改正します。

●芦屋町障がい者を理由とする差別の解消の推進に関する条例の制定

(可決 満場一致)

障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律が施行されたことに伴い、本町においても障がい者差別の解消を一層推進するため、条例を制定します。

●芦屋町地域福祉計画推進委員会設置条例の一部を改正する条例の制定

(可決 満場一致)

地域福祉を推進するため、同委員会の所掌事務に自殺対策基本法に基づく市町村自殺対策計画として芦屋町のちを支える計画の策定及び推進に関することを加え、委員の任期を変更し、切れ目のない計画の推進を行うため、条例の一部を改正します。

【予 算】

●平成 30 年度芦屋町一般会計補正予算(第5号)

(可決 賛成多数)

歳入歳出それぞれ 2 億 7,900 万円の減額補正を行うものです。

歳入＝ 過疎債ハード分として芦屋釜の里整備事業を新たに計上したほか、特定防衛施設周辺整備調整交付金事業基金繰入金を増額補正するとともに、事業費確定による公営住宅建設事業債等を減額しています。

歳出＝ 特定防衛施設周辺整備調整交付金事業基金元金積立金を増額補正したほか、年度末の所要額確定による不用額を減額しています。

●平成 30 年度芦屋町地方独立行政法人芦屋中央病院貸付金特別会計補正予算(第1号)

●平成 30 年度芦屋町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)

●平成 30 年度芦屋町モーターボート競走事業会計補正予算(第2号)

(可決 賛成多数)

年度内の所要見込額確定による最終補正です。

●平成 30 年度芦屋町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)

●平成 30 年度芦屋町国民宿舎特別会計補正予算(第2号)

●平成 30 年度芦屋町給食センター特別会計補正予算(第2号)

●平成 30 年度芦屋町公共下水道事業会計補正予算(第1号)

(可決 満場一致)

年度内の所要見込額確定による最終補正です。

●平成 31 年度芦屋町一般会計予算

(可決 賛成多数)

歳入歳出総額 80 億 1,600 万円 前年度比 1.2%減

歳入＝ 町税が 12 億 2,000 万円、地方交付税が 22 億 2,000 万円、町債が 10 億円などとなっています。

また、モーターボート競走事業会計からの収益事業収入は、6 億円を計上しています。

なお、不足財源に対応するため、財政調整基金の繰入金を 4 億 5,000 万円計上しています。

歳出＝ 総務費では庁舎外壁改修工事費1億3,000万円や町民会館改修事業費2億3,000万円などを計上しています。

教育費では、芦屋中学校トイレ改修工事費1億3,000万円や情報機器導入事業費、芦屋釜の里整備事業費などを計上しています。

この他に、柏原漁港整備事業費や緑ヶ丘団地整備事業費に加え、定住促進奨励金や出産祝金などを計上しています。

●平成31年度芦屋町地方独立行政法人芦屋中央病院貸付金特別会計予算

(可決 賛成多数)

歳入歳出総額 4億5,657万円 前年度比51.1%増

歳入＝中央病院からの公債費負担金、町債(医療機器分9,500万円)

歳出＝中央病院への貸付金、負担金、公債費

●平成31年度芦屋町国民健康保険特別会計予算

(可決 賛成多数)

歳入歳出総額 16億8,139万2,000円 前年度比0.5%増

歳入＝国民健康保険税、県支出金など

歳出＝保険給付費、国民健康保険事業費給付金など

●平成31年度芦屋町後期高齢者医療特別会計予算

(可決 賛成多数)

歳入歳出総額 2億4,809万4,000円 前年度比3.5%増

歳入＝後期高齢者医療保険料、一般会計からの繰入金など

歳出＝後期高齢者医療広域連合納付金など

●平成31年度芦屋町国民宿舎特別会計予算

(可決 満場一致)

歳入歳出総額 1億795万3,000円 前年度比18.9%減

歳入＝指定管理者からの納入金、一般会計からの繰入金など

歳出＝長寿命化計画策定業務、各種設備改修工事、施設の当初建設に係る起債の元利償還金など

●平成31年度芦屋町給食センター特別会計予算

(可決 満場一致)

歳入歳出総額 1億3,847万5,000円 前年度比1.0%増

歳入＝給食費収入、一般会計からの繰入金など

歳出＝給食事業費、給食賄材料費、人件費など

●平成 31 年度芦屋町モーターボート競走事業会計予算

(可決 賛成多数)

収益的収入＝974 億 3,987 万 9,000 円 前年度比 0.5%減
本場開催の収入、場外発売受託事業収入など
収益的支出＝957 億 1,258 万 9,000 円 前年度比 1.1%減
本場開催の経費、場外発売受託事業など
資本的支出＝2 億 8,739 万 4,000 円 前年度比 51.1%減
本場の施設改良費など

●平成 31 年度芦屋町公共下水道事業会計予算

(可決 満場一致)

収益的収入＝7 億 4,274 万 1,000 円 前年度比 0.1%増
下水道使用料、一般会計補助金など
収益的支出＝7 億 3,635 万 8,000 円 前年度比 0.7%減
浄化センター等の維持管理費、減価償却費、企業債支払利息、人件費など
資本的収入＝4,376 万 1,000 円 前年度比 13.6%減
企業債、国庫補助金、一般会計補助金など
資本的支出＝2 億 3,857 万 8,000 円 前年度比 3.7%減
下水道ストックマネジメント計画策定、山鹿西部・東部排水区浸水対策調査、企業債元金償還金、人件費など

【人 事】

●芦屋町固定資産評価審査委員会委員の選任同意

(同意 満場一致)

任期満了に伴い吉永和子氏を再度選任します。

氏 名 吉永 和子

生年月日 昭和 24 年 11 月 3 日

住 所 芦屋町江川台

【その他】

●地方独立行政法人芦屋中央病院第2期中期計画の認可

(可決 賛成多数)

地方独立行政法人法第 26 条第 1 項の規定により、地方独立行政法人芦屋中央病院が作成した第 2 期中期計画を認可することについて、同法第 83 条第 3 項の規定により、議会の議決を求めるものです。

●町道の路線認定

(可決 満場一致)

寄附採納により 2 路線及び道路改良工事により 1 路線を町道として認定します。

●特別養護老人ホームに係る言動に対する調査特別委員会報告

(不承認 賛成少数)

妹川議員の特別養護老人ホームに関する一般質問での発言や行動に、一事業者への利益誘導の事実があったかどうかについて、特別委員会で真偽の調査を行い、結果を報告するものです。

※報告書の詳細な内容については、別添のファイルをご覧ください。